

こころの居場所づくり事業について

こころに悩みを抱えた若者等(※)に対し、精神疾患に関する普及啓発や気軽に悩みを相談できる居場所を開設するもの。

※近隣には富山大学などがあり、一人暮らしの大学生はもとより、社会に出たばかりの若者、就労に困難を抱える方など。精神疾患の有無や程度、年齢を問わず

<期待される効果>

- ・利用者からの潜在的なこころのケアニーズの把握
- ・専門職による早期相談、行政・医療・福祉への円滑なつなぎを行うことによる、精神疾患の重症化やひきこもり、自殺の未然防止

⇒モデル的な取り組みとして、カフェを設置し、メンタルヘルス対策の充実に取り組むもの

1 こころの居場所の概要

(1) 名 称: CAFE ゆりの木(仮称)

(正式名称は令和7年7月2日(水曜日)午後1時30分からの社会福祉法人 富山県精神保健福祉協会 臨時理事会にて決定します。)

(2) 設置場所: 社会福祉法人 富山県精神保健福祉協会 ゆりの木の里内
(富山市五福 474 番地2)

(3) 開 設 日: 平日の月曜日～水曜日

(4) 開設時間: 午後1時から午後5時まで

(5) 体 制: 専門職(精神保健福祉士等)等を配置
→令和7年7月7日(月曜日)午後1時よりオープン

<参考>こころの居場所づくり事業イメージ

